

IEC TC111 国際規格化の最新動向に関する講演会

■主 催：IEC TC111 国内運営委員会

■担当部署：環境部

■参加者数：約150名

概 要

IEC(国際電気標準化会議)に、電気・電子機器に共通な環境に係わる規格を策定するTC111 (Environmental Standardization for Electrical and Electronic products and systems) が2004年10月に設立されて以降、日本がTC111国際議長をつとめ、議論の場で中心的な役割を担いつつ、テーマごとに設置したWG・PTにおいて、国際標準化の作業を進めて参りました。

そのような状況のなか、2011年は10月24日～29日の間、メルボルン(豪州)においてIEC TC111全体会議及びTC111傘下のWG・PT会議が開催されたので、最新情報を紹介するため、講演会を開催することといたしました。

今回の講演会では、TC111の中でも特に皆様方ご関心の高い次の4つのテーマ(テーマA～D)について規格内容をご紹介させていただくとともに、各規格の進捗状況、今後のスケジュールについても報告させて

いただきました。

これら最新の動向が皆様の環境事業に有用な情報となりますことを切に望んでおりますとともに、今日、TC111の活動をよりご理解いただき、今後の活動に一層のご支援を賜りたく宜しくお願いいたします。



プログラム

○開会の挨拶

TC111国内委員会委員長 山田 秀 氏（筑波大学大学院 ビジネス科学研究科教授）

○TC111事業活動紹介

TC111国際議長 市川芳明 氏（(株)日立製作所）

○テーマA：含有化学物質開示手順（IEC 62474）

「IEC62474の最終規格案（FDIS）及びVT62474の内容について」

古田清人 氏（キヤノン(株)）

○テーマB：電気電子機器中の化学物質等測定方法（IEC 62321）

「IEC62321（第2版）の最新内容について」

竹中みゆき 氏（(株)東芝）

○テーマC：電気電子機器のリサイクル可能率と製造者とリサイクラーからの情報提供に関するガイドライン（IEC TR62635/62650）

「IEC TR62635/62650の最新内容について」

市川芳明 氏（(株)日立製作所）

○テーマD：温室効果ガス（GHG）測定方法（IEC TR62725/62726）

「電気・電子製品のGHG排出量・GHG排出削減量算定方法（案）の検討状況について」

齋藤 潔 氏（一般社団法人日本電機工業会）